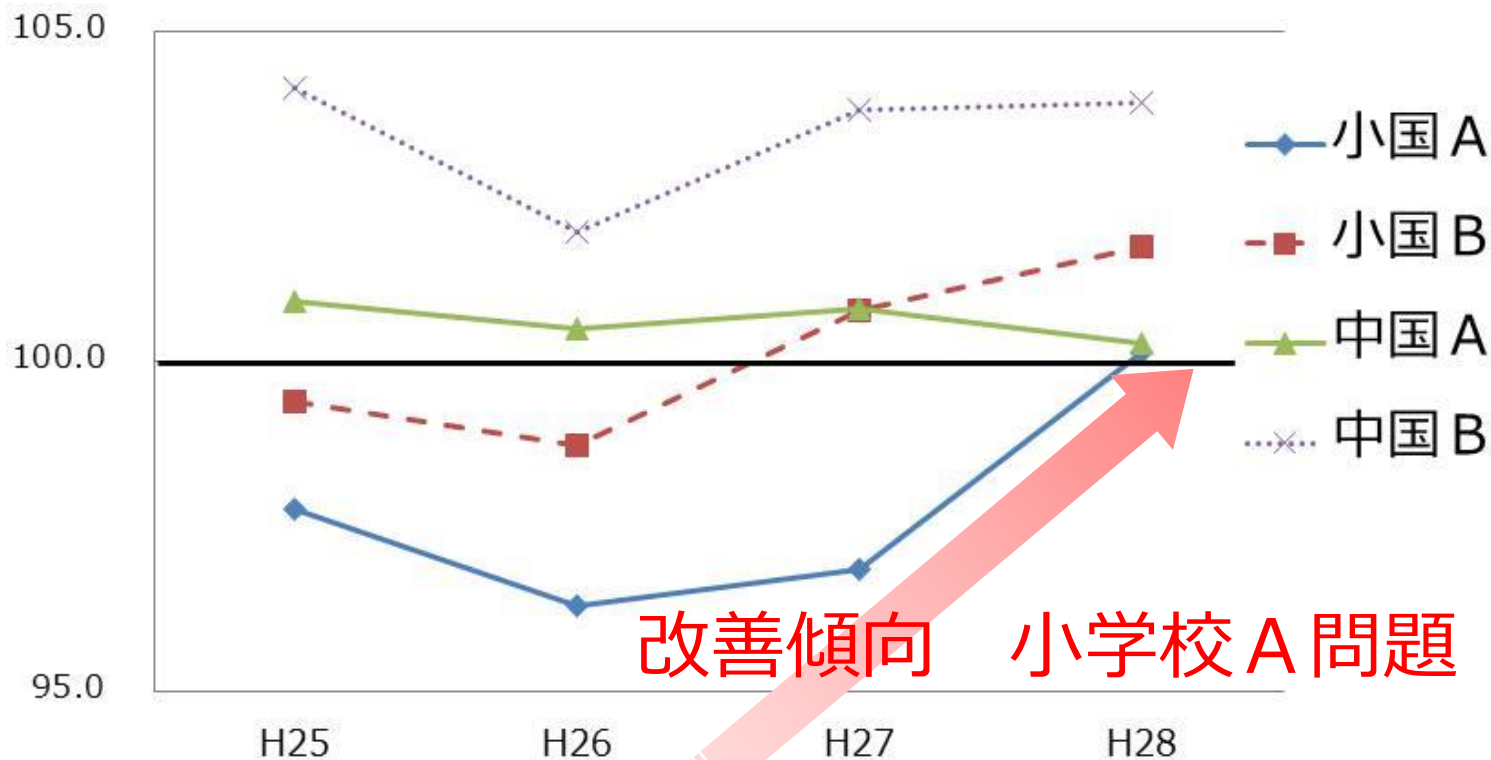


全国学力・学習状況調査 結果分析

国語科



平成28年度 指導改善説明会

全国学力・学習状況調査 結果分析

国語科

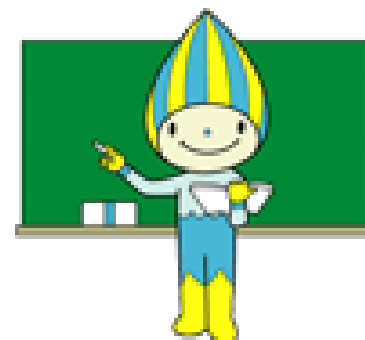
① 目的に応じて、情報を的確に取り出し、自分の考えに結ぶ

② 語彙量を増やし、語彙力を伸ばす

① 目的に応じて、情報を的確に取り出し、自分の考えに結ぶ



自らが求めようとしている情報を的確に取り出し、活用する、目的・課題解決的な読み方



① 目的に応じて、情報を的確に取り出し、自分の考えに結ぶ

○ 情報の取出し

第5学年 教科書

P. 138

H27説明会 模擬授業
5年生「天気を予想する」



国語



問題

誤答

分析

ポイント

情報の取出し

【指導改善の成果】

中学校B

1

—

国語

○ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の
伝統文化展」が開かれるねらいとして適切
なものを選択する。

【博物館のちらし（表）】

暮らしの中の
伝統文化展

第1期

うるしの世界

2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

開館時間 : 午前9時30分 - 午後5時
休館日 : 月曜日

電話 000-123-xxxx
http://www.hakubutsukan.xx.jp

【博物館のちらし（裏）】

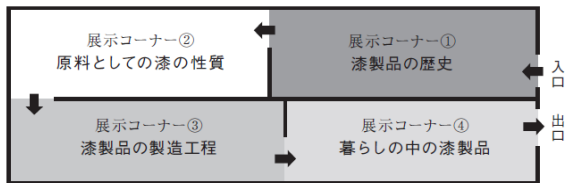
「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1階展示室）



関連イベント

～漆製品を使ってみよう～

漆の器
ムを吹
入れ
の美
てみ

～職人の技を見てみよう～

文章によらない情報
「非連続型テキスト」



問題

誤答

分析

ポイント

情報の取出し

【指導改善の成果】

【正答率】 79.7%

+ 3.5pt

1

漆、和紙、織物などの日本の伝統文化は特別なものではなく、現在の生活とつながりがあると知ってもらうこと。

2 日本の伝統文化の代表である漆、和紙、織物を同時に展示し、それぞれの特徴を比較してもらうこと。

3 国内の各地で漆、和紙、織物の順で生まれ、発展してきた日本の伝統文化の歴史的な背景を理解してもらうこと。

4 世界の優れた職人の手によって作り出された漆、和紙、織物などの高級品の数々を鑑賞してもらうこと。

中学校B

1

—

【指導改善の成果】

H27説明会 模擬授業
5年生「天気を予想する」

小学校 B 問題 2 2 (1)

【正答率】 55.2%

+ 3.8pt

中学校 B 問題 1 1

【正答率】 79.7%

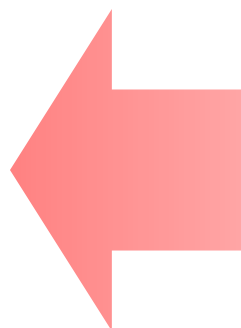
+ 3.5pt

- 「非連続型テキスト」と「連続型テキスト」を関連付けて情報を取出す

① 目的に応じて、情報を的確に取り出し、自分の考えに結ぶ

× 複数の情報から、自分の考えに必要な情報を的確に取り出し、書いたり話したりする。

話すこと
書くこと



第5学年
教科書
(読むこと)
P. 138



グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

○「早ね早起朝ごはん活動」のまとめ【報告文】

【報告文の一部】

1 成果
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。
〔図1〕のように、活動を始める前の五月の時点では「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎて起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないといえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が

2 課題
成果が一方、活動を始める前の五月の時点では、今回の活動がなくても、毎日本を動かすように、体育がない日にクラブで外遊びを行う活動や「健康せんげんカード」に早ね早起きができなかったかを記録する活動を行ったこともあげ

自分の考え⇒
「1成果」

根拠となる

データ⇒
【図1】

この課題を解決するために、テレビやゲームの時間、メールなどをす。そして「健康せんげんカード」の記録方法について考え、必要があることか（表2）か、あります。

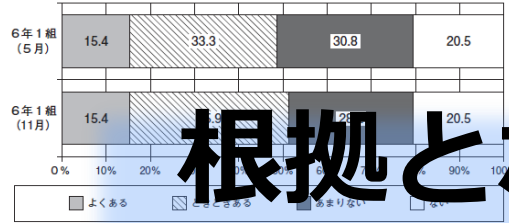
3 解決
そこで、わたしたちが人が取り組める次のような解決方法を考えました。

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。
・今日は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思ひます。

○「朝ごはん」活動について（報告文が続く）

〔図2〕

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなることはありますか。



〔表2〕

ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（6月）

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしているから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	9人
家族のみんなも起きているから。	8人
その他	5人

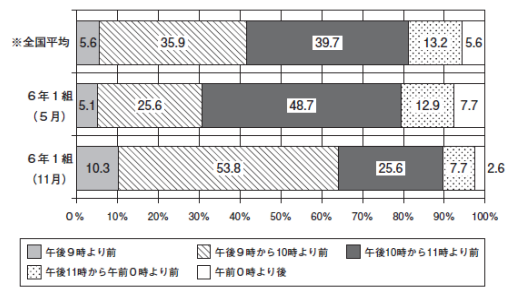
〔表1〕

早ねをするようになった理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（11月）

成長に大事だと感じたから。	23人
毎日を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
ねを毎日するようにし、習慣になったから。	8人
ねをしたら、業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人

〔図1〕

次の日に学校がある日は、ふだん何ごろにねますか。



（※全国平均は、文部科学省「平成26年度家庭教育的総合的推進に関する調査研究—睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査—」に基づく）



グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

—

国語

【問題】

高野さんは、「1 成果」について〈図1〉を用いて書くようとしています。A の中に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました
- 2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました
- 3 五月の結果より増え、六十パーセントを超えました
- 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました



グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

—

国語

【報告文の抜粋】

○ 「早ね早起き」活動のまとめ
1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていくことが分かりました。

〈図1〉のように、活動を始める前の**五月の時点**では、

「次の日に学校がある日」に**夜十時を過ぎても起きている人の**

割合が全国平均を上回り、早ねができていたとはいえませんでした。

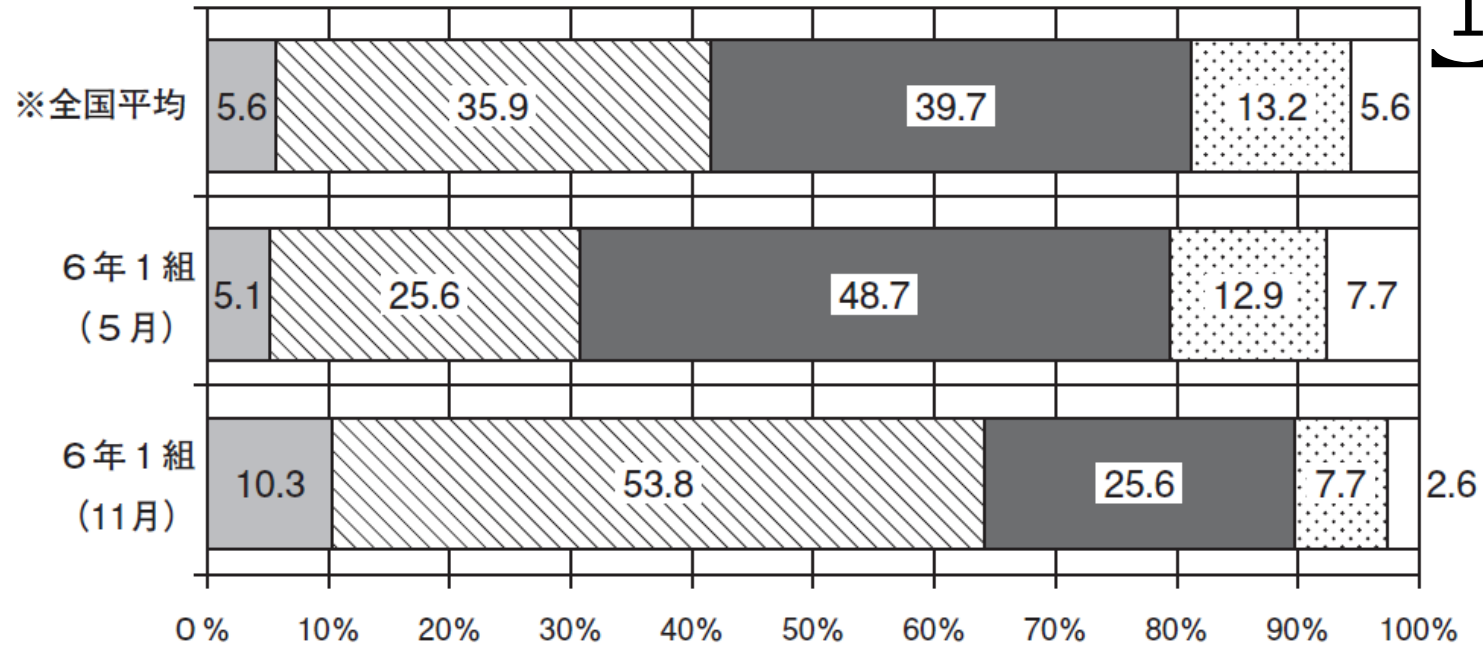
それが**半年間の活動後**には、**夜十時まで**に**ねる人の割合**

が A。

グラフを基に分かったことを的確に書く

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。

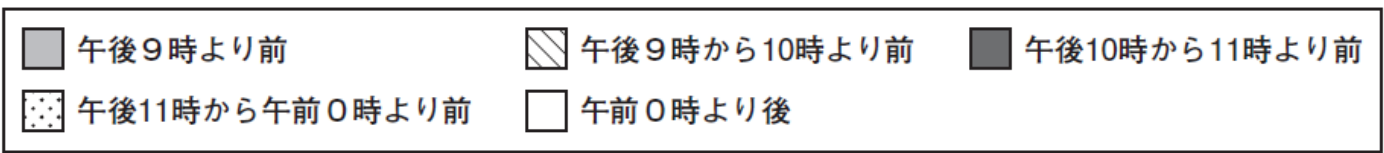


【図1】

小学校B

2

—





問題

誤答

分析

ポイント

グラフを基に分かったことを的確に書く

「半年間の活動後に」

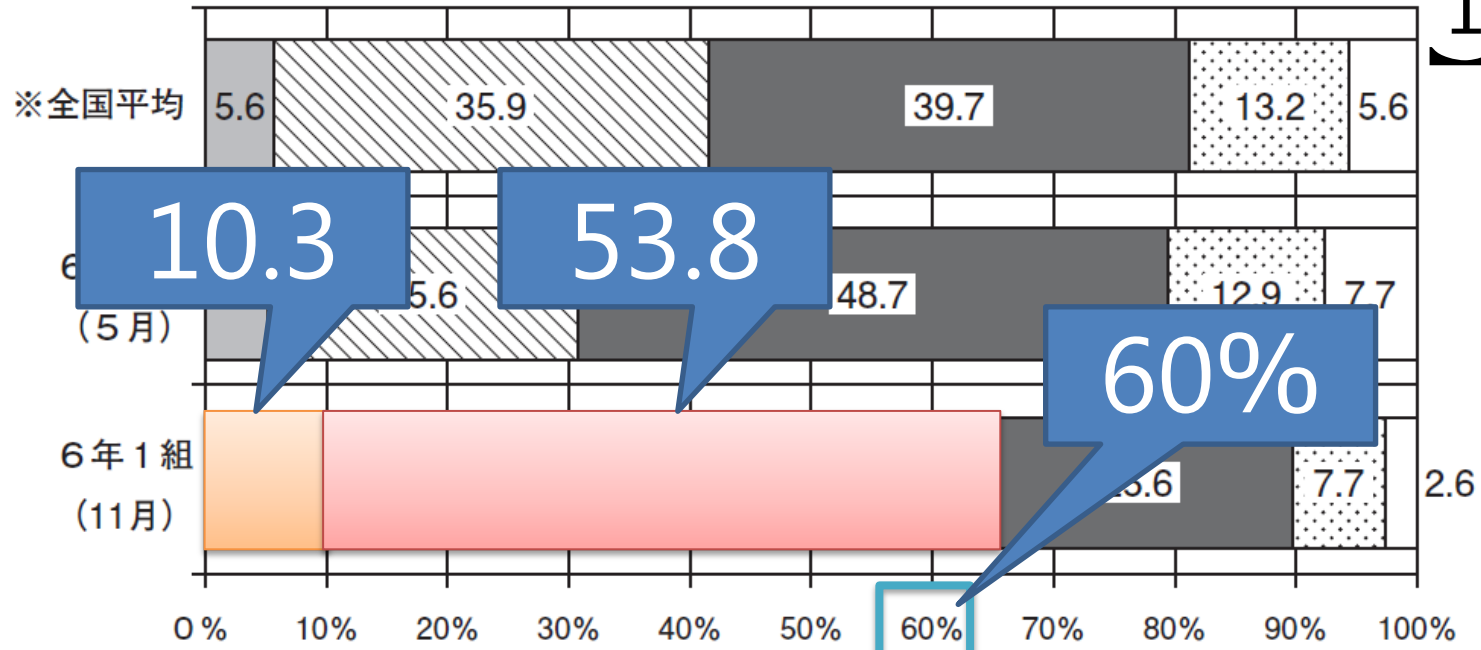
〈図1〉 「夜十時までに寝る人の割合」

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。

〔図1〕

小学校B

2



10.3

53.8

60%

60%

■ 午後9時より前

▨ 午後9時から10時より前

■ 午後10時から11時より前

▤ 午後11時から午前0時より前

□ 午前0時より後



問題

誤答

分析

ポイント

グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

—

【正答率】

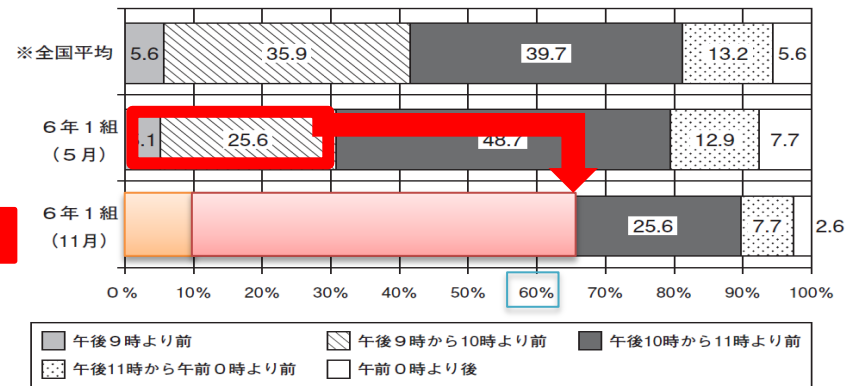
42.9%

- 0.5pt

- 1 五月の結果を下回り、十パーセント程度になりました
- 2 五月の結果より減り、十パーセント以下になりました
- 3 五月の結果より増え、六十パーセントを超えました
- 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。





問題

誤答

分析

ポイント

グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

—

- 1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました
- 2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました
- 3 五月の結果より増え、六十パーセントを超えました
- 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました

【正答率】

42.9%

−0.5pt

【反応率】

1 ... 30.3%

2 ... 16.5%

4 ... 9.3%

グラフを基に分かったことを的確に書く

小学校B

2

—

【正答率】

42.9%

— 0.5pt

【反応率】

1 ... 30.3%

2 ... 16.5%

4 ... 9.3%

1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました

2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました

← 「主語」の変化に気付いていない

高野さんが何に「着目」したのか（目的）を踏まえて、図1の情報を収集していない。

グラフを基に分かったことを的確に書く

小学

【正答率】

「目的意識」（課題意識）をもち、それに即した「必要な情報」を収集していない。

⇒中学校調査※においても同様の傾向

※B問題「図鑑の情報」と「テキスト（物語文）」の情報を切り結んで自分の考えにつなげ、記述する。

4 ... 9.3%



問題

誤答

分析

ポイント

国語科授業改善のポイント

- ◎ 一人一人の「目的」を明確にして必要な情報を集め、集めた情報を吟味した上で、話したり、書いたりする課題解決的な言語活動を仕組む。

第5学年
教科書
P. 149

教科書 小学校 第5学年
「グラフや表を用いて書くこと」
(書くこと)

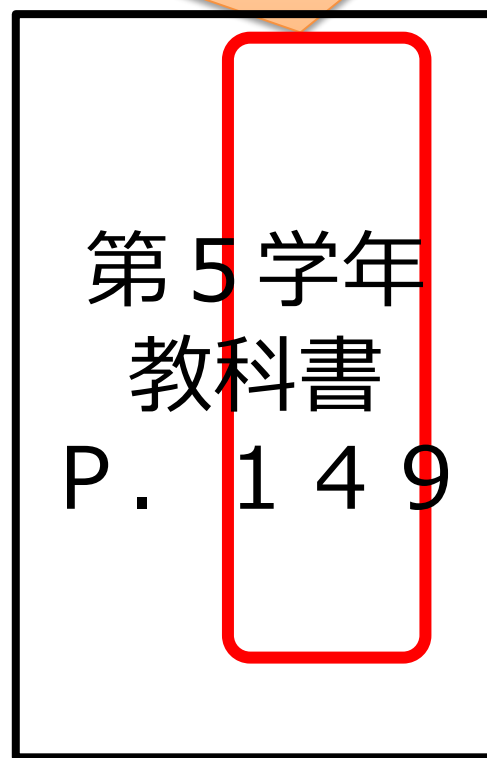
「情報の取出し」
から、
「情報の活用」へ

教科書 小学校 第5学年
「天気を予想する」(読むこと)

国語

わたしたちが、今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうかを考えましょう。

- ① 考えることを明確にする。
- ② 「課題」に沿った一人一人の「立場」(考え)を明確にする。
- ③ 単元を通して自分の「立場」(考え)を意識させ続ける。



教科書 小学校 第5学年
「グラフや表を用いて書くこと」
(書くこと)

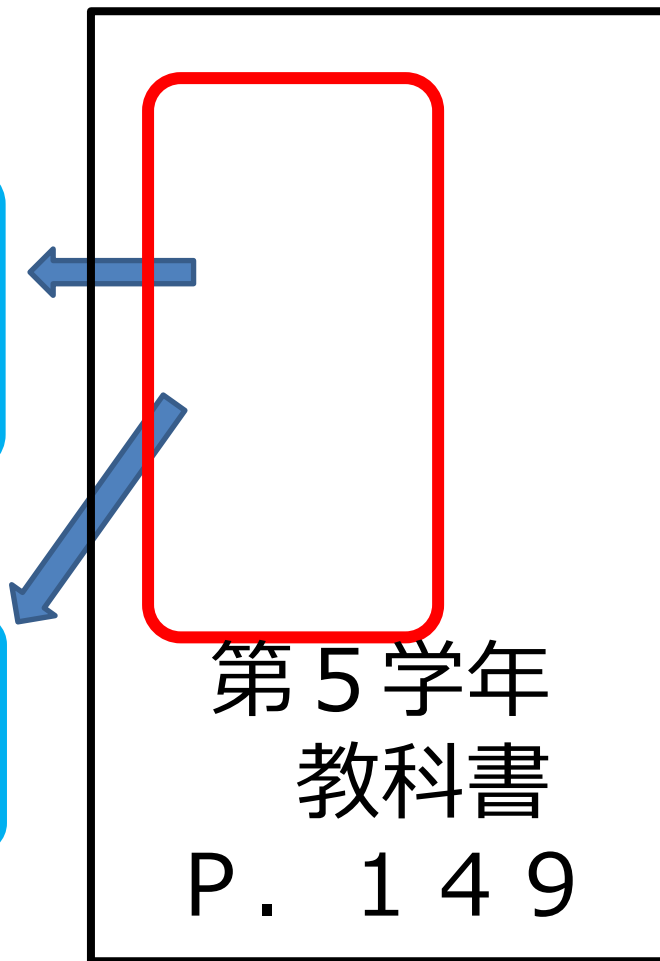
④ 学習過程（「取材」「構成」「記述」「推敲」「交流」）とその手順を丁寧に確認する。

決めよう・集めよう

- 1 自分の考えをもつ。
- 2 自分の考えに合ったグラフや表を選ぶ。

組み立てよう

- 1 何を、どの順序で書くか決める。



教科書 小学校 第5学年
「グラフや表を用いて書くこと」
(書くこと)

わたしたちが、今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうかを考えましょう。

決めよう・集めよう

- 1 自分の考えをもつ。
- 2 自分の考えに合ったグラフや表を選ぶ。

組み立てよう

- 1 何を、どの順序で書くか決める。

- ① 考えることを明確にする。
- ② 「課題」に沿った一人一人の「立場」（考え）を明確にする。
- ③ 単元を通して自分の「立場」（考え）を意識させ続ける。
- ④ 学習過程とその手順を丁寧に確認する。



問題

誤答

分析

ポイント

全ての教科を通して

- 目的が明確な学習活動を通して必要な情報を集め、自分の考えをもつ学習過程を位置付ける。

中学校 第2学年
地理 教科書

【例】中学校社会科（地理）
第2学年「北海道地方」

国語



問題

誤答

分析

ポイント

全ての教科を通じて

○目的的に情報を集め、集めた情報を根拠にして自分の考えを語る。

中学校 第2学年
地理 教科書

【学習課題】北海道地方の農業は、自然の制約や社会の変化をどのように乗り越えてきたのだろうか。

課題意識(目的意識)をもち、課題解決に必要な情報を目的的に読み取り、自分の考えをもつ。

×与えられた資料から、読み取ったことだけを発表する。

【例】中学校社会科(地理)
第2学年「北海道地方」

国語

① 目的に応じて、情報を的確に取り出し、自分の考えに結ぶ

- ・ポイント1
一人一人の「目的」を明確にして必要な情報を集め、集めた情報を吟味した上で、話したり、書いたりする課題解決的な言語活動を仕組む。



② 語彙量を増やし、語彙力を伸ばす

岐阜県の長年の課題「漢字の読み・書き」

【漢字の読み（3問）、書き（3問）の計6問中
全国平均を上回っている設問数の推移】

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
小学校（6問中）	1	2	1	1	1
中学校（6問中）	4	4	1	1	2



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

小学校 A

1

二

2

したしい友人と出かける。

中学校 A

9

一

2

今までにない
ドクソウ的な考えだ。



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

○ 2
 独創
 ドクソウ的
 今までにない
 考えた。

2
 中学校 A
 9
 ー

23.2%
 - 2.9pt

○ 2
 親
 した
 しい友人と出かける。

2
 小学校 A
 1
 二

70.9%
 - 2.9pt



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

小学校A

1

二

2

したしい友人と出かける。

○ 親

× 舌 新

中学校A

9

一

2

今までにない

ドクソウ的な考えだ。

○ 独 創

× 想 奏 走



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

小学校A

1

二

2

○ 親

したしい友人と出かける。

教科書

第2学年下

「親（しん）」

「お手紙」

「愛あいなるく」

で初出



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

小学校A

1

二

2

したしい友人と出かける。

○ 親

教科書

第2学年下

「お手紙」

「親（しん）愛あいなるく」

で初出



教科書

第3学年上「言葉で遊ぼう」

「親（した）しまれてく」

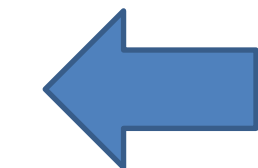
で「新しい読み」が初出

漢字の読み書き

教科書

第2学年下 「お手紙」

欄外と単元
末に表示

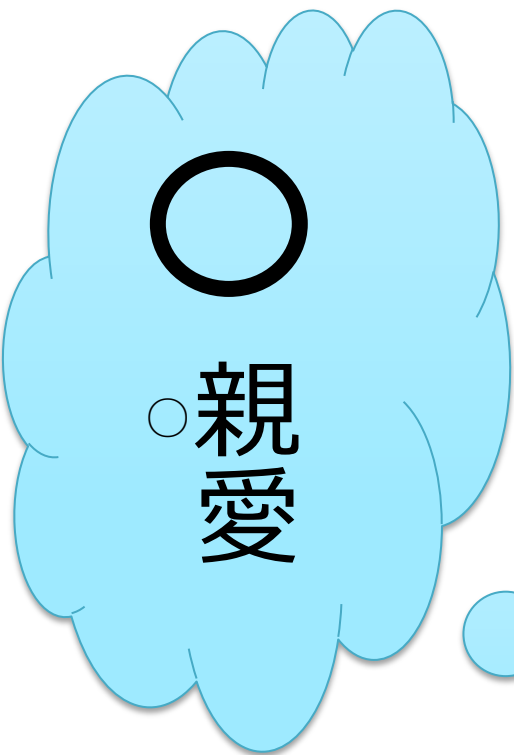


教科書

第3学年上 「言葉で遊ぼう」

欄外と巻末
資料に表示

◎ 新たな読みが出てきた時に、既習の読み方や
用い方を確かめる。



● 親しむ

+

【教科書本文】
古くから多くの
人に親しまれている
言葉遊びです。

教科書
第3学年上「言葉で遊ぼう」

× 漢字を何度も機械的に書かせる。

漢字の読み書き

文脈の中で語句の意味を捉えているか。

今までで「**ない**」

独 独 独
奏 走 想
? ? ?

考えた。

中学校A

9

—

2 今までにない

○ 独創
ドクソウ
ウ的
的な
考えだ。

× 想奏走



問題

誤答

分析

ポイント

漢字の読み書き

語句の辞書的な意味
を理解しているか。

そう 【創】 そう(サウ) きず・はじめる

(字義)

①きず。「創痕イ・創傷・刀創：」

②初めて作る。始め
る。はじめ。「創
立・創始・創造：」

○ 独創

ドクソウ的な考えだ。

2 今までにない

今までにない

中学校A

9

—

◎ 辞書を引き、文脈の中で語句の意味を考える。

**「常に辞書が机上にある国語教室」
小学校第3学年以上⇒100%達成**

語句の**辞書**的な意味を基にして、文脈上の意味を考えることの**習慣化**

【小学校国語科学習指導要領】
第3学年及び第4学年
伝国 イ(カ)



問題

誤答

分析

ポイント

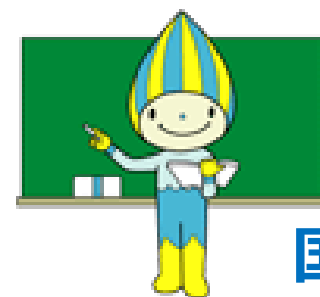
全ての教科を通じて

○必要な時に、
いつでも
調べることができる
言語環境づくり。

例＞ 百科事典、 図鑑、 資料集
英和辞典、 和英辞典、
国語辞典、 漢和辞典、 字源辞典

② 語彙量を増やし、語彙力を伸ばす

- ・ポイント1
新たな読みが出てきた時に、既習の読み方や用い方を確かめる指導を行う。
- ・ポイント2
辞書を引き、文脈の中で語句の意味を考えさせる指導を行う。



以下、參考資料

必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

中学校B 3

「おじいさんのランプ」新実南吉 の文章

【物語の一部】

〔ここまでのあらすじ〕 少年時代、ランプの明るさに驚いた巴之助は、ランプ売りになる。自分が売ったランプで、暗かった村の家々が明るくなっていくのを喜んでいたが、やがて町には電気が通り始める。

さてある日、巴之助がランプの芯を仕入れに大野の町へやってくると、五、六人の人が道のはたに穴を掘り、太い長い柱を立てているのを見た。その柱の上の方には腕のような木が二本ついていて、その腕木には白い瀬戸物のだるまさんのようなものがいくつかのついていた。こんな奇妙なものを道のわきに立ててなににするのだろう、と思いつつ先に向くと、また道ばたに同じような高い柱が立っていて、それには雀が腕木にとまって鳴いていた。

この奇妙な高い柱は五十メートルぐらいい間をおいては、道のわきに立っていた。

巴之助はついに、ひなたでうどんを乾している人いきいてみた。すると、うどんやは「電気とやらいうもんがこんどひけるだげな。それでもう、ランプはいらんようになるだげな。」と答えた。

巴之助にはよくのみこめなかった。電気のことなどまるで知らなかったからだ。ランプのかわりになるものらしいのだが、そうとすれば、電気というものはあかりにちがひがあるまい。あかりなら、家の中にもせばいいわけで、なにもあんなとつもない柱を道のくろに何本もおつ立てることはないじゃないかと、巴之助は思ったのである。

それから一月ほどたつて、巴之助がまた大野へ行くと、この間立てられた道のはたの太い柱には、黒い綱のようものが数本わたされてあった。黒い綱は、柱の腕木にのついているだるまさんの頭をまきして次の柱へわたされ、そこでまただるまさんの頭をまきして次の柱にわたされ、こうしてどこまでもつづいていった。

注意してよく見ると、ところどころの柱から黒い綱が二本ずつだるまさんの頭のところで別れて、家の軒端につながれているのであった。

「へへえ、電気とやらいうもんはあかりがとるもんかと思つたら、これはまるで綱じゃねえか。雀や燕のええ休み場というもんよ。」と巴之助が一人であざわらひながら、知り合ひの甘酒屋にはいつてゆくと、いつも土間のまん中の飯台の上につるしてあった大きなランプが、横の壁のあたりに取りかたづけられて、あとにはそのランプをすつと小さくしたような石油入れのついていない、変なかつこのランプが、丈夫そうな綱で天井からぶらさげられてあった。

「なんだやい、変なものをつるしたじゃねえか。あのランプはどこか悪くでもなつたかやい。」と巴之助はきいた。すると甘酒屋が、

「ありや、こんどひけた電気というもんだ。火事の心配がうて、明るうて、マッチはいらぬし、なかなか便利なもんだ。」と答えた。

「へッ、へんで、これいなものぶらさげたもんよ。これじゃ甘酒屋の店もなんだか間がぬけてしまった。客もへるだろうよ。」甘酒屋は、相手がランプ売りであることに気がついたので、電灯の便利なことはもういわなかった。

「なア、甘酒屋のとつあん。見なよ、あの天井のどこを。ながねんのランプの煤であそこだけ真っ黒になつとるに。ランプはもうあそこに居つてしまつたんだ。今になって電気たらいう便利なもんができたからとて、あそこからはずされて、あんな壁のすみっこにひっつけられるのは、ランプがかわいそうよ。」

こんなふうには巴之助はランプの肩をもつて、電灯のよいことはみとめなかった。ところでもまもなく晩になって、だれもマッチ一本すらなかつたのに、とつぜん甘酒屋の店が真昼のように明るくなつたので、巴之助はびつくりした。あまり明るいので、巴之助は思わすうしろをふりむいてみたほどだった。

「巴之さん、これが電気だよ。」

巴之助は歯をくいしばつて、ながいあいだ電灯を見つめていた。敵でもにらんでいるようなおつきであつた。あまり見つけていて眼のたまが痛くなつたほどだった。

「巴之さん、そういつちやなんだが、とてもランプで太刀うちではできないよ。ちよつと外へくびを出して町通りを見てごらんよ。」巴之助はむつつと入り口の障子をあけて、通りをながめた。どこの家とこの店にも、甘酒屋のと同じように明るい電灯がともっていた。光は家の中にあまつて、道の上にもまはつていた。ランプを見なれてきた巴之助にはまぶしすぎるほどのあかりだった。巴之助は、くやしさに肩でいきをしながら、これも長い間ながめていた。

〔新実南吉「おじいさんのランプ」による。〕

【参考資料】

問題 誤答 分析 ポイント

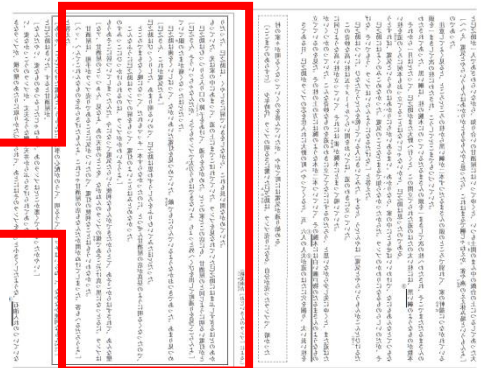
必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

中学校B

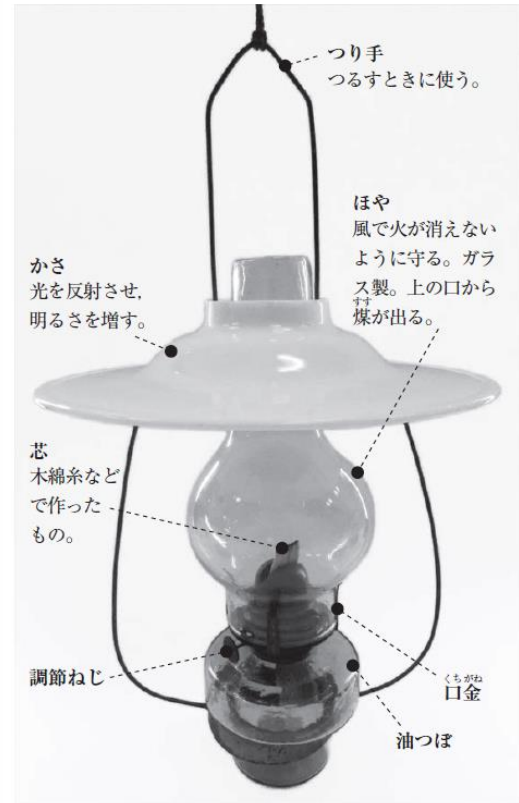
3

三

【図鑑の説明】



石油ランプ



部屋の主な明かりの変遷

あんどん行灯
(江戸時代)
油を入れた皿に芯を浸し、火をつけて使う。

石油ランプ
(明治時代から昭和初期)
行灯より明るい、部屋全体を照らすほどではない。

白熱電球
(明治時代中期から現在)
明かりが揺れたり消えたりせず、部屋全体を照らす。

蛍光灯
(昭和から現在)
白熱電球より明るい。消費電力が少なく長持ちする。

- 使い方●
- ① 油つぼに石油を入れる。
 - ② ほやを口金から持ち上げて、芯に火をつける。
 - ③ 調節ねじで芯の長さを変え、明るさを調節する。
 - ④ ほやが黒く汚れたら、口金から外して内側を磨く。

【図鑑の説明】を根拠に、文章中の指定部分について分かるようになったことを、指定字数で書きまとめる。

国語



必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

中学校B

3

三

【問題】

あなたは、【図鑑の説明】を読むことで、【物語の一部】の□の中のどの部分についてよく分かるようになりましただか。よく分かるようになつた部分と、その部分についてのどのようなことが分かつたのかを、次の条件1と条件2に従つて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【物語の一部】の□の中のどの部分についてよく分かるようになつたのかを明確にして書くこと。

条件2 条件1で取り上げた部分について、どのようなことが分かつたのかを【図鑑の説明】の内容に触れて書くこと。

必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

中学校B

3

三

【反応率】

条件2が×...9.5%

条件1が×...6.5%

無解答...20.6%

【正答率】

60.9%

+3.2pt

【参考資料】



必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く

中学校
B

3

三

【反応率】

条件2が×...9.5%

条件1が×...6.5%

無解答 ... 20.6%

【正答率】

60.9%

+ 3.2pt

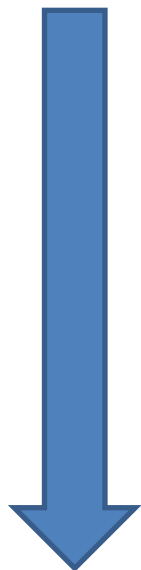
複数のテキストから、「自分に必要な情報を取り出し、自分の考えに結ぶ」経験がなく、方法が分からない。

【質問紙調査】

- 調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）
「1時間が余った」と「2ちょうどよかった」の計
86.9%



◎ 小単元の確実な実施を！



第3学年
教科書
P. 28

【例】
教科書 第3学年上
「漢字の音と訓」

講義形式ではなく、調べたり、実際に書いたり話したりする言語活動を位置付ける

教科書だけでは...

教科書

第2学年下 「お手紙」
「親（しん）愛」で初出

国語

教科書

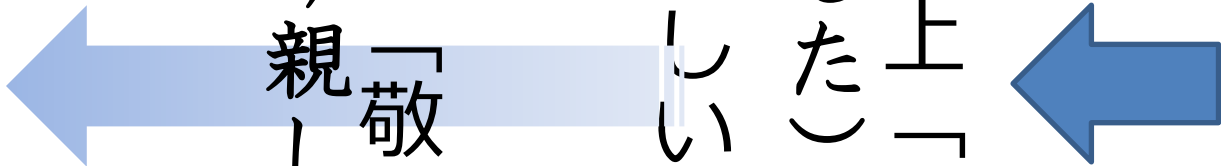
第3学年上 「言葉で遊ぼう」
「親（した）しまれて」
で「新しい読み」が初出

教科書

第5学年 「敬語」
「あまり親しくない人」

教科書

第6学年 「表現を選ぶ」
「親しい相手との」



◎ 日常生活の中で、漢字を用いる機会を増やす！

■ 成果を上げている学校では...

○ 日記や連絡帳

学年の発達段階に応じて、「お題」を変えた例文作り。

【持ち物】 絵の具
【振り返り】 ○○○○○○○○○。○○○○、○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○。○○○○、○○○○○○○○○
【今日のお題】 (親) を使った文をちがう読み方で2つ書く。 ① ぼくには親友が二人いる。 ② ぼくには親しい友だちがいる。

✗ 漢字を何度も機械的に書かせる。

◎ 日常生活の中で、漢字を用いる機会を増やす！

■ 成果を上げている学校では...

- 日記や連絡帳、生活の記録ノート、活動の振り返りなど、学校生活の中で、文章を書く機会が多い。
(教師の朱書きも充実している。)
- 家庭学習として、毎日例文作りを行っている。
(連絡帳に位置付けるなどして地道に取り組む。)
- 帯学習として、下学年で学習した漢字に絞った学習を実施している。(週に1～2回程度)
- 必読書の設定や、日常的な全校一斉読書を実施するなど、読書生活を充実させている。

国語

× 漢字を何度も機械的に書かせる。

◎日常生活の中で、漢字を用いる機会を増やす！

■成果を上げている学校では...

○教科に関する「用語」は、その教科の学習の中で、正しく書けるように指導きる。

【例】

社会 (5年) 地域、気候、災害
(6年) 政治

算数 (4年) 垂直、(5年) 半径
(6年) 円周率、割合、対称

理科 (3年) 植物
(4年) 観察、実験、
(5年) 発芽、(6年) 水溶液